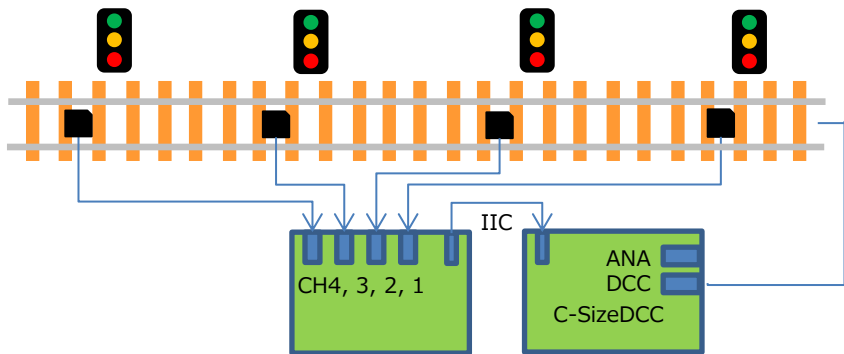


# 日本型信号機スケッチ

Web Nucky製の3現示日本型信号機を動かすスケッチです。



1. 開始ボタンを押すと、すべての信号機のココをDIVにして、CH1の信号機を青に変える
2. 手動で発車して、センサーを通過したら赤に変え、前方を青に変える
3. CH4を通過したらCH1を青に変える

アナログ車両の場合、信号機デコーダはトラックではなくDCC出力に接続してください。

## 【デコーダのアドレス設定】

機能	CV No.	信号機アドレス			
		CH4	CH3	CH2	CH1
テコ条件	11, 12	1	1	1	1
現示条件1	13, 14	8	6	4	2
現示条件2	15, 16	9	7	5	3

通過した信号機のみを赤に変えるため、前方の現示条件に重ねる機能は使わず、4チャンネル個別に制御します。

テコ条件アドレスは1に固定。

## 【アドレスオフセット】

信号機を制御するスケッチの指定アドレスはDesktop Station soft のCV設定で変更可能です、CH1の現示条件1をトップアドレスとして、以降はスケッチのオフセット変数でデコーダにアクセスします。

```
word gTecoAddress = 1;  
word gSignalAddr;
```

```
struct AddrPair {  
    byte Jyoken1;  
    byte Jyoken2;  
};  
AddrPair AccOffset[] = {  
    {0, 1}, // CH1  
    {2, 3}, // CH2  
    {4, 5}, // CH3  
    {6, 7}, // CH4  
};
```

```
void Signal Yellow(byte inCH)  
{  
    word addr = gSignalAddr + AccOffset[inCH].Jyoken1;  
    iic.IICsend(addr, CMD_ACC, STR);  
}
```

```
void setAddress(byte cv, byte val)  
{  
    gSignalAddr = gAccAddr_Hi * 256 + gAccAddr_Low;  
}
```